特 集《意見交換会》
― 3つのテーマで市民の声を聞きました ―

柏崎市議会だより

ギカイのとびら

No.187　令和4（2022）年2月5日

今回の表紙

活発な意見を交わす市民の皆さん

各テーマの現状や課題解決に向けた提案などについて、情報共有しました。
（場所　産業文化会館　大ホール）

もくじ

- 特集《意見交換会》　P２・３
- 常任委員会審査報告　P４・５
- こんなことが決まりました　P６
- 一般質問・賛否一覧　P７～10
- 名誉回復措置　P11
- 会派で政務活動を行いました　P12・13
- ギカイのうごき　P14・15
- ２月定例会議日程　ほか　P16

https://www.city.kashiwazaki.lg.jp/shigikai/

特集

《意見交換会》

〈3つのテーマで意見をお聞きしました〉

大会場でのワークショップ形式で市民52人と活発に意見交換

11月17日に産業文化会館で、初めての試みとなる形式で開催しました。意見をいただいた3つのテーマについては、各常任委員会で調査・研究を継続していきます。

意見交換テーマ

ワークライフバランス
男女共に家庭と仕事の両立はできていますか？

子育て環境の充実
柏崎市の子育てサービスはいかがですか？

鳥獣被害対策
イノシシの被害で困っていませんか？

詳しくはコチラ

ワークライフバランス

●担当　総務常任委員会

- 人それぞれの生き方があり、強制することなく、徐々に意識を変えていく。
- 社会人になってから意識や行動を変えることは大変。子どもの年代から取り組む必要がある。
- ハッピー・パートナー企業に登録しているが、実績が伴っていない。登録後の状況の確認が必要である。
- ビジネスリーダーの意識を変える。
- ワークライフバランスを進めることによって、子育てしやすい環境になるので、力強く進めるべき。
- 労働人口が減少しているなら、女性が活躍しやすい環境づくりが必要。

Point!

ワークライフバランスとは、誰もがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たす一方で、子育て・介護の時間や家庭・地域・自己啓発にかかる個人の時間を持ち、健康で豊かな生活ができるよう、仕事と生活の双方の調和を実現することです。

子育て環境の充実

●担当　文教厚生常任委員会

- 制度と現実のひずみを感じるため、現状を知りたい。
- デジタルを活用するなどして簡単に学校の統廃合をしてほしくない。高柳で子育てサービスをつくろうと思っている。
- 子育て応援券は、アプリなど簡単に手軽に利用できるようにしてほしい。
- 地域に合ったやり方での子育てのバックアップ体制が必要。
- いじめ対策が急務。
- 子育て便利帳の周知を。
- パパママセミナーに父親が参加しやすいように日時を工夫してほしい。

鳥獣被害対策

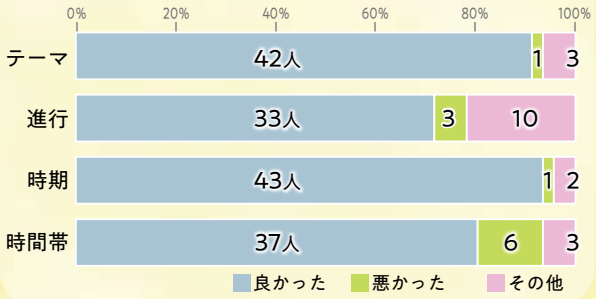
●担当　産業建設常任委員会

- 個体を減らすためにくくり罠で捕まえる方が良いが、費用がかかるのであまりメリットがない。
- イノシシの習性を知れば、緩衝帯の除草などの対策ができる。
- 普段からきれいなまちを保てば野生動物を寄せ付けないまちになるのでは。
- イノシシの出没データなどデジタルを活用しながら、ＩＴ、ＩｏＴなどのシステムでカバーする。
- 空き家の庭の木（柿の木など）や草刈りなども管理・対策をした方が良いのではないか。
- ジビエとしての活用ができるような仕組みづくりが必要ではないか。

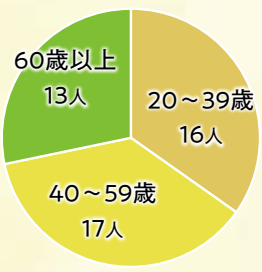
アンケート結果より

参加者52人（男性20人、女性32人、子どもを除く。）**の内、46人から回答をいただきました。**

意見交換会はどうでしたか？



あなたの年齢は？



他に関心のあるテーマは？

- 高齢化
- まちの活性化
- 中山間地域での生活環境
- 産業・観光
- 障がい者支援
- メンタルサポート

令和３(2021)年12月定例会議常任委員会での審査について報告します

総務常任委員会

■委員長　阿部　基　■副委員長　布施　学
■委　員　星野幸彦・三宮直人・飯塚寿之・佐藤和典・若井恵子・星野正仁

４件の議案を審査しました。

・柏崎市過疎地域持続的発展計画の制定について

事業の概要

特別措置法の施行に伴い、経過措置の適用を受けて、地域の持続的発展に取り組むための計画を制定する。

主な質疑

Q　目標の人口を維持するためには、若者・女性・子どもに焦点を当てるということか。

A　若者・女性・子どもはもちろん、住民の住みよさを確保していくことも必要である。

Q　若者・女性・子どもをターゲットにした事業が具体化されていない計画では、人口減少に歯止めがかからないのではないか。

A　議員の意見も聞きながら、具体的な事業を予算などに反映させていきたい。

文教厚生常任委員会

■委員長　重野正毅　■副委員長　白川正志
■委　員　笠原晴彦・近藤由香里・樋口良子・荒城彦一・上森　茜・春川敏浩

６件の議案を審査しました。

・公の施設の指定管理者の指定について（新潟県立こども自然王国）

事業の概要

指定期間が令和４年３月31日をもって満了。同年４月１日から２年間、引き続き、株式会社生態計画研究所を指定管理者に指定する。

主な質疑

Q　利用者の現状・推移は。

A　平成29年度から利用者は増加傾向。令和２年度はコロナ禍で休館があり減少した。

Q　市としてのこども自然王国の位置付けは。

A　県内唯一の大型児童館として市外からも多く利用されていて、高柳地域の振興に寄与している。

Q　じょんのび村との連携は。

A　イベントの共同開催や共同仕入れなど、具体的な連携に向けて協議を継続している。両者が一体となり、地域を盛り上げてもらいたい。

産業建設常任委員会

■委員長　山本博文　■副委員長　田邉優香
■委　員　村田幸多朗・秋間一英・持田繁義・佐藤正典・相澤宗一・柄沢　均

４件の議案を審査しました。

・企業振興条例の全部を改正する条例

事業の概要

法律改正に伴い課税免除の取り扱いが変更となったための改正。

主な質疑

Q　なぜ全部改正なのか、今後の効果は。

A　法律改正に伴い、奨励企業の基準を条例に明確に規定するため。要件が緩和され効果的になる。今後企業誘致や既存企業への優遇措置などにより生産性向上に結びつく。

委員会の録画映像はYouTubeで見ることができます

審査した議案はコチラ

予算決算常任委員会

■委員長　星野　正仁　■副委員長　持田　繁義
※分科会長・副分科会長・委員は、各常任委員会の委員長・副委員長・委員と同じ。

一般会計補正予算（第20・21号）など、６件の議案について審査しました。

総務分科会

質疑はありませんでした。

文教厚生分科会

一般会計補正予算（第20号）について

• 新型コロナウイルス感染拡大防止対策事業費（9680万円）

事業の概要

新型コロナウイルス感染症に係る中等症患者受入医療機関である柏崎総合医療センターが感染症対策として実施するナースコールシステムなどの整備に必要な経費を補助する。

主な質疑

Q ナースコールシステムの運用時期は。

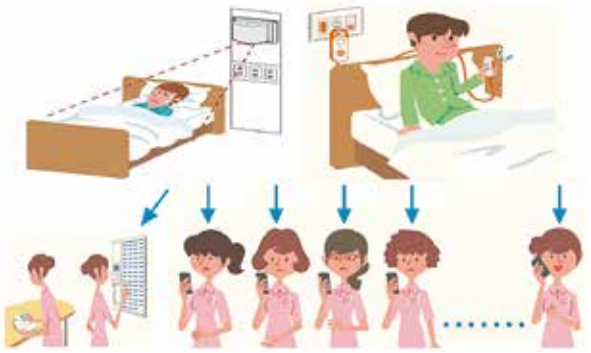
A 運用は来年（令和４年）４月からを予定。

Q 導入の効果は。

A カメラで病室の患者の状態が確認できるようになる。導入により、院内感染防止強化や医師・看護師の負担軽減につながる。

Q 電子カルテとの関連性は。

A 電子カルテとの連動は、さらなる費用がかかるため、今後検討していくこととなる。



産業建設分科会

一般会計補正予算（第20・21号）について

• 都市公園整備事業（3100万円）

事業の概要

番神御野立公園のり面崩落対策。

主な質疑

Q 崩落の原因、対策の内容、財源は。

A 雨などによる経年劣化が原因。崩れたのり面の測量地質調査、復旧工事を行う。一般財源で要求したが、防災・減災関係の交付金を充当する予定である。

• 緊急景気対策事業（4906万6000円）

事業の概要

「柏崎元気復活！！ＧＯＴＯイート」チケットの追加販売。

主な質疑

Q 追加販売の数量、周知の方法は。

A 世帯販売から個人販売へと要件を緩和し、２万冊を販売する。ホームページや新聞折り込み広告などで周知する。

こんなことが決まりました

11月随時会議・12月定例会議　議案審議

Pick up 1

犯罪被害者を支えるための条例が施行されます

◎犯罪被害者等支援条例の制定について

犯罪被害に遭い、支援を必要としている方々を社会全体で支える仕組みを構築し、市民誰もが安心して暮らすことができる地域社会を実現するための条例が、令和４（2022）年４月１日に施行されます。

犯罪被害者等支援シンボルマーク
「ギュっとちゃん」（警察庁）

Pick up 2

第五次総合計画が変更されました

◎柏崎市第五次総合計画基本構想及び基本計画の施策の体系の変更について

令和４（2022）年度から**５年間**としていた後期基本計画期間が令和７（2025）年度までの**４年間**になり、人口予測と施策の体系が変更されました。また、前期基本計画における４つの重点戦略の課題を整理し、後期基本計画では「子どもを取り巻く環境の充実」と「大変革期を乗り越える産業イノベーションの推進」の２つが重点戦略となります。

前期基本計画の重点戦略

- 健康・元気・いきいき戦略
- 産業イノベーション戦略
- 地域の宝・育成戦略
- 魅力あるまち形成戦略

後期基本計画の重点戦略

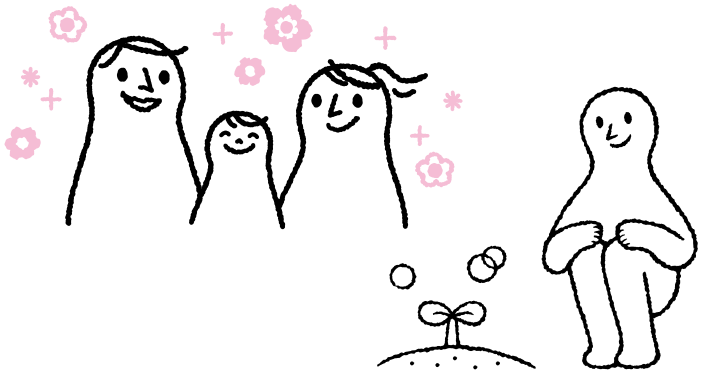
- 子どもを取り巻く環境の充実
- 大変革期を乗り越える産業イノベーションの推進

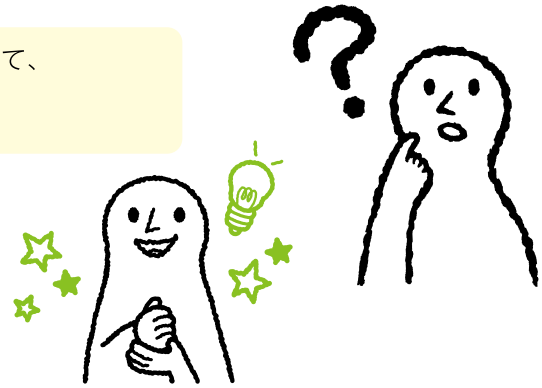
議決した議案はコチラ

一般質問

一般質問とは

皆さんの暮らしに関わる大切なことについて、
議員が市に対して質問する場です。
あなたはどんなことに関心がありますか?





質問項目はコチラ

学校教育

飯塚寿之

Q 指導補助員・介助員の拡充と人材確保の考え方

A 財源の許す限り拡充に努めたい。賃金を含め魅力ある職業となるよう検討する

質問 特別支援教育の専門性のある職員と学習指導補助職員、それぞれを配置すべきではないか。指導補助員を募集しても集まらないと聞くが、人材確保に向けては賃金を上げることも検討すべきである。

回答 財源の許す限り指導補助員と介助員の拡充に努めたい。指導補助員が賃金的にも魅力ある職業となるようにしていきたい。

他の質問 まちづくりの方向性と市長の基本姿勢 ほか

動画でチェック

防災

春川敏浩

Q 県の調査を受けたスマートインターチェンジの構想

A 実効性では米山ＩＣ移設だが、事業規模を考慮し優先順位は上方スマートＩＣ

質問 県の原子力災害時避難経路阻害要因調査では、ＰＡＺ避難者の30ｋｍ離脱に13時間40分かかる。上越方面の渋滞緩和・時間短縮のため、スマートＩＣの計画はどうか。

回答 避難経路の渋滞対策として、ＩＣの整備を国・県に要望している。最優先は米山ＩＣの東側への移設だが、上方か曽地にスマートＩＣを新設する方が現実的である。

他の質問 新型コロナウイルスワクチン接種
不登校といじめ

動画でチェック

人権啓発

近藤由香里

Q 性的少数者に配慮した行政対応の現状と今後の取り組み

A「多様な性を理解し行動するための職員ガイドブック」を策定、活用を図る

質問 市役所・公共施設の利用者や職員のうち、性的少数者の方に配慮した行政対応について、現状と今後の取り組みを伺う。

回答 令和３年11月末、性的少数者に対する行政的配慮や職員を含めた認識・対応を示す「多様な性を理解し行動するための職員ガイドブック」を策定した。今後はこれを有効活用し、研修などで理解促進を図る。

他の質問 これからの介護を守るために
一票を生かす選挙管理の在り方

動画でチェック

産業支援

佐藤和典

Q 地域経済の回復に向けてさらなる産業支援が必要である

A 今後も地域産業の事業継続を支援するとともに積極果敢な挑戦を後押しする

質問 長引くコロナ禍の中、地域経済を回していくためにはさらなる産業支援が必要である。今後の対策や当面の間の市内への企業誘致をどのように考えているか。

回答 事業継続に対して適時適切な施策を講じ、ポストコロナに向けた積極果敢な挑戦を後押しする。企業誘致は当面市有地を活用し、工業団地開発の適地調査を検討する。

他の質問 脱炭素社会が地域経済にもたらす影響　ほか

動画でチェック

学校部活動

山本博文

Q 市内児童・生徒のスポーツ活動の方向性

A 休日の中学校部活動の地域移行に向けた対応を進める

質問 児童・生徒の減少により、単独チームを組めない部活動がある。児童・生徒のスポーツ活動の今後の方向性について伺う。

回答 文科省が示す部活動改革への対応が喫緊の課題であり、市では学校部活動地域移行準備委員会を立ち上げて準備を進めている。2026年度から順次、休日の中学校部活動の地域移行を本格実施に移したい。

他の質問 道の駅「風の丘米山」の再整備　ほか

動画でチェック

学校教育

重野正毅

Q 児童・生徒の学力向上のための環境整備

A 指導補助員と介助員の増員と、全普通教室などへの電子黒板の設置を行う

質問 子どもたちの学力向上のため、学校における物的・人的・運営など、さまざまな面での環境整備の計画は。

回答 配置をしない教育業務支援員分の予算を指導補助員や介助員のさらなる増員のために振り向けたい。学習用タブレットの活用を促進するために、小・中学校の全普通教室と理科室に電子黒板を設置していく。

他の質問 新型コロナウイルスワクチン未接種者への差別禁止対策

動画でチェック

使用済み核燃料

秋間一英

Q 使用済み核燃料の行方

A 市は、使用済み核燃料を発電所構内に長期間留めておかない方針だ

質問 高速増殖炉「もんじゅ」の廃炉が決まって六ケ所村への搬出も先が見えない中、引くことも押すこともできない状態で、市民の安全・安心と使用済み核燃料の処分をどのように考えるか。

回答 国には、責任を持って真剣にあらゆる手法の可能性を検証し、核燃料サイクルの確立を加速度的に進めてもらいたい。

他の質問 ＣＯ２排出削減とプラスチックごみの削減

動画でチェック

障がい福祉

樋口良子

Q 要介護者の特別障害者手当受給について周知が必要

A ケアマネジャーの研修時、より一層の周知を図っていく

質問 特別障害者手当は、障害者手帳のない要介護４・５の方などが対象となるケースが多いが、周知不足で受給されないことがある。市民への周知を徹底すべきだ。

回答 ホームページや広報かしわざきに掲載しているが、ホームページは分かりやすく改善する。また、ケアマネジャーの研修時などに、より一層の周知を図っていく。

他の質問 新型コロナウイルス感染症対策

動画でチェック

原 発

星野幸彦

Q 東京電力ホールディングス株式会社は信頼できるのか

A 原発を動かす資質について、現状では信頼できると言い切れる段階ではない

質問 東京電力は不祥事を繰り返し、企業体質は全く改善されていない。失った市民の信頼を短い時間で回復できると考えるか。

回答 原発を動かす資質について、現状では信頼できると言い切れる段階ではない。信頼回復は一朝一夕には難しいが、期待するしかない。潜在的な能力や資質は持っていると考え、抜本的な社内改革に期待する。

他の質問 原子力災害時の避難計画

動画でチェック

エネルギー産業

柄沢 均

Q 省エネルギーという産業について市の考えは

A 省エネルギー産業は非常に可能性が大きいと期待しており、支援していく

質問 省エネ関連の製造業や省エネ住宅を手掛ける建設業へ、インセンティブを与えることについて、また、産学官連携による研究、人材の育成について市の考えを伺う。

回答 省エネ産業は非常に可能性が大きいと期待する。国の支援策の活用を含め、産業界・行政・大学研究機関が連携した技術開発や人材育成などの取り組みを支援する。

他の質問 人材育成と確保
柏崎の教育の方向性

動画でチェック

生活支援

Q 灯油の急激な高騰対策として、暖房費助成の実現を

A 生活保護受給世帯などに対しては暖房費に限らず助成を検討

質問 灯油価格の急激な高騰が、長引くコロナ禍で疲弊する暮らしに追い打ちをかけ、地域経済にも影響を与えている。生活・営業支援として暖房費助成を実現してほしい。

回答 生活保護受給世帯などの生活困窮世帯には暖房費に限らず支援を検討している。小規模事業者については、国・県の動向など情報収集に努めていく。

他の質問 柏崎刈羽原子力発電所をめぐる諸問題　ほか

動画でチェック

公共交通

Q 今後の路線バスの運行や規格の在り方

A 小型車両の導入を含め、移動需要に応じた規格や運行頻度の見直しは必要

質問 運転士不足と利用者数の減少から、普通第２種免許で運転できるジャンボタクシー規格やデマンド型バスの導入を検討する時期に来ているが、市の見解を伺う。

回答 現在策定中の市地域公共交通計画では、スマホアプリも活用したデマンド型小型車両の導入を検討し、利用実態に応じた施策で持続可能な公共交通を構築していく。

他の質問 コロナ禍による高齢者の貧困　ほか

動画でチェック

私たちは 賛成 × 反対 しました

議決された議案などはコチラ

議員賛否一覧（11月随時会議・12月定例会議の採決において賛否が分かれた議案など）

議決日	議案	布施　学	村田幸多朗	笠原　晴彦	秋間　一英	星野　幸彦	重野　正毅	三宮　直人	近藤由香里	田邉　優香	白川　正志	山本　博文	持田　繁義	樋口　良子	佐藤　正典	飯塚　寿之	荒城　彦一	相澤　宗一	佐藤　和典	若井　恵子	柄沢　均	上森　茜	春川　敏浩	星野　正仁	阿部　基	真貝　維義
12月６日	平成30（2018）年３月６日付け議員倫理審査請求に係る倫理審査会の審査結果に対する名誉回復措置について	除斥	除斥	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	除斥	○	○	○	除斥	○	－

○は賛成　×は反対　真貝維義議長は採決に加わりません。

除斥（じょせき）とは、審議を公平なものとするため、議題となった案件と一定の利害関係にある議員を、その審議が終了するまで議場退席させることです。

星野正仁議員、若井恵子議員の名誉回復措置

～議員倫理条例違反がないことを確認しました～

詳しくはコチラ

12月６日の本会議において、平成30(2018)年３月６日付け議員倫理審査請求に係る倫理審査会の審査結果に対する名誉回復措置について、議会運営委員会（佐藤和典委員長）の報告のとおり可決しました。

■ 議会運営委員会での協議の結果

当委員会は、東京高等裁判所の判決[注1]を精査した結果、東京高等裁判所の判断を採用することが適切であると認められることから、対象議員の行為[注2]は、議員倫理条例第４条第５号及び同条第６号[注3]の規定に該当すると認定した３月６日審査結果は現時点において相当ではなかったと判断し、議員倫理条例違反がないことを確認するとともに、同条例第13条第５項の規定に基づき次の名誉回復措置を採ることとしました。

- 平成30（2018）年９月18日付けで副議長に提出された柏崎市議会議員倫理審査会の委員長報告は現時点において東京高等裁判所判決を基に考えると相当ではなかったと判断し、対象議員には議員倫理条例違反がないことを議会および議会ホームページにおいて公表すること。
- 議会ホームページにおいて対象議員には議員倫理条例違反がないことを明確にするとともに、委員長報告は削除すること（ただし、原本は、議会事務局で閲覧することは妨げないこと。）。
- 議会だよりに、対象議員には議員倫理条例違反がないことを公開すること。

注１　東京高等裁判所の判決要旨：当該判決において、本件第一行為（被控訴人に関する市議会議長宛ての議員倫理審査請求書を報道機関に提供してその内容が報道されるに至らせた行為）は、「被控訴人の名誉を棄損するものではあるが、公共の利益に関わり、専ら公益を図る目的でされたものであるところ、それによって摘示された事実は、重要な部分において、真実であることの証明があり、それを基礎としてされた意見ないし論評の表明は、その範囲を逸脱するものではないといえるから、その違法性が阻却され、不法行為は成立しないというべきである。」とするとともに、本件第二行為（ほぼ同内容の審査請求書を市議会に提出して議会事務局において不特定多数の者が閲覧できる状態に至らせた行為）は、「このような制度を前提とした議員倫理の審査請求については、地方議会議員の重要な活動として正当な職務行為に当たると評価すべきであるから、控訴人らは、本件第二行為について、不法行為責任を負わないものと解するのが相当であり、この判断を左右するに足りる事実の主張立証はない。」とされた。

注２　対象議員の行為：両議員らが、加藤武男議員（注：当時）を審査請求の対象議員として「市営西山町駐車場不正使用」等を対象事実とした平成30年（2018年）２月20日付け議員倫理審査請求（以下「２月20日付け審査請求」という。）が取り下げられたにもかかわらず、その旨報道各社に連絡をしなかった。また、２月20日付け審査請求は、内容が誤りの事実を対象事実として審査請求するとともに、かかる事実を報道機関に情報提供した。これらのことにより、加藤議員の市議会議長および市議会議員としての社会的信用が大きく傷つけられたことを対象としています。

注３　議員倫理条例第４条第５号及び同条第６号：（５）　嫌がらせ、強制、圧力をかける行為、セクシャルハラスメントその他人権侵害のおそれのある行為をしないこと。（６）　柏崎市議会の品位と名誉を著しく損なう行為を行わないこと。

会派で政務活動を行いました

自治研究会

■ 7月13日(火)

視察研修内容

- 鳥獣被害対策研修会

詳しくはコチラ

鳥獣被害の現状と対策について

講師の山本麻希先生（㈱うぃるこ代表取締役社長、国立大学法人長岡技術科学大学准教授）は鳥獣被害対策のスペシャリストであり、なかなかお話を伺うことができない中で貴重な研修時間を頂戴いたしました。

近年イノシシによる被害が、農作物だけでなく高齢者や児童などに及ぶことが懸念されています。そのような状況での里山の在り方など新たな視点と、イノシシのみならずアナグマやハクビシンなど厄介な害獣による被害対策も含まれており、より実践的で進歩した研修内容となっておりました。多くの農業者、農産物生産者や関係機関にもぜひお話を聞いていただきたい内容でしたので、改めてわが会派としてもＪＡや各関係機関に山本先生の講義内容の周知を図ってまいりたいと思います。

柏崎のみらい

■ 8月5日(木)

視察研修内容

- 新潟水俣病の公害被害における住民訴訟の意義と課題、関連する特措法および地域福祉推進条例の取り組みについての調査研究

詳しくはコチラ

住民・被害者のための仕組みづくりを学ぶ

阿賀野川流域住民に多数の公害被害者を出した新潟水俣病について、新潟水俣病資料館、旧昭和電工鹿瀬工場、阿賀野川流域周辺地域を訪ね、調査研究を行った。現地視察では、新潟水俣病患者会・第２次訴訟原告団団長の皆川氏および水俣病共闘会議の高野氏の案内により、住民の被害状況、現在に至るまで続いている裁判訴訟についての説明を受け、課題共有するとともに、水俣病特措法の施行に至るまでの、公害被害からの住民救済の取り組みを学んだ。

重要なことは、県の新潟水俣病地域福祉推進条例に見られる、行政を含む社会全体で住民や被害者を支えていく仕組みづくりである。安心して暮らせる環境づくりは住民福祉の基本であり、原子力発電所が立地する当市においても、そのことを議会や行政は肝に銘じておかなければならないと、本視察で改めて学ぶことができた。

令和３年(2021)年度政務活動費による活動の一部を報告します。
他の会派については、次号で報告する予定です。

民　　友

■ 11月４日(木)、11月24日(水)

視察研修内容

- 福島第一原子力発電所の廃炉作業進捗状況ほか
- 島根原子力発電所の安全対策・避難路ほか

詳しくはコチラ

福島第一原子力発電所

東日本大震災および東京電力福島第一原子力発電所事故から10年が経過、ほぼ毎年、相双地区の復興並びに福島第一原子力発電所の復旧状況を確認させてもらっている。ＪＲ常磐線の全線開通や帰還困難地区が残る大熊町においても新しい商業施設などが開設され、徐々に日常へ向かっていく明るさを感じた。しかし、復興の妨げとなっているＡＬＰＳ処理水の扱いは、方針が定まったものの海洋放出における風評の払拭が大きな課題として残っている。事業者の努力はもとより、政府の指導力を大いに望む。

島根原子力発電所

島根原子力発電所における避難計画は新潟県とは違い、県外へ避難するケースとなり、周辺自治体との関係がより複雑になる。国・中国電力から地域への説明が行われる段階だが、柏崎刈羽のケースを想定してその取り組みを注視してまいりたい。

柏崎の風

■ 11月19日(金)、11月24日(水)

視察研修内容

- 福島第一原子力発電所の現状
- 原子炉核燃料の課題調査

詳しくはコチラ

福島第一原子力発電所の廃炉作業

東日本大震災、原子力災害の教訓を風化させないためにも、双葉町や浪江町の現状を再確認するとともに、福島第一原子力発電所の廃炉作業状況やＡＬＰＳ処理水の現状と課題について、現地にて説明を受けました。

むつ市とリサイクル燃料施設の現状

使用済み核燃料の課題解決を目的として、東京電力柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に密接な関係がある、六ケ所村の原子燃料サイクル施設を視察するとともに、むつ市が誘致した、リサイクル燃料備蓄センター（中間貯蔵施設）を視察し、使用済燃料中間貯蔵事業に関する経緯と現状について、むつ市議会および担当部門から説明を受け、互いに抱える課題について意見交換を行いました。

ギカイのうごき

CHECK! 1

原発調査特別委員会が中間報告

～これまでの成果を議場で報告しました～

詳しくはコチラ

原子力施設の安全性を確保し、議会として市民への説明責任を果たすとともに、持続可能なまちづくりに役立てるため、令和元（2019）年９月に柏崎刈羽原子力発電所にかかわる調査特別委員会を設置しました。

３つの部会での活動のほか、10月27日には経済産業省大臣官房エネルギー・地域政策統括調整官の佐々木雅人氏を講師に招き、政府が進めるエネルギー政策についての研修会を行うなど、調査研究を進めてきました。

12月21日の本会議において、これまでの成果を報告しました。

CHECK! 2

常任委員会が調査研究テーマを決定

～ロードマップを作成して取り組みます～

議長の諮問を受け、総務・文教厚生・産業建設の各常任委員会が調査研究テーマを決定しました。

令和４（2022）年12月定例会議での最終報告に向けて、ロードマップを作成して調査研究を進めていきます。

- 総務常任委員会
  - **男女共同参画**
- 文教厚生常任委員会
  - **子どもを取り巻く環境の充実**
- 産業建設常任委員会
  - **産業振興と人材育成**

委員を変更しました

11月29日の本会議において、飯塚寿之議員に代わり、佐藤正典議員が議会運営委員に選任されました。

同じく、近藤由香里議員に代わり、相澤宗一議員が議会広報広聴常任委員に選任されました。

所属会派の異動がありました

民友に所属していた近藤由香里議員が、11月18日付で柏崎の風に加入しました。また、12月６日の本会議において、議席番号の一部を変更しました。

詳しくはコチラ

CHECK! 3

12月定例会議からペーパーレス化を実施

～議会のＩＣＴ化に取り組んでいます～

議員タブレットやペーパーレス・文書共有システムの導入を進めてきましたが、12月定例会議から議案・資料の原則ペーパーレス化が実現しました。引き続き、オンライン会議などＩＣＴの活用による議会の活性化を目指していきます。

CHECK! 4

会派による市長要望

10月28日と11月１日に、令和４（2022）年度予算および主要施策について、８つの会派がそれぞれの要望事項を市長に直接伝えました。

CHECK! 5

持田議員、県知事表彰

持田繁義議員が、令和３（2021）年度県知事表彰を受けられました。20年以上にわたり議員として活躍してきたことが認められたものです。12月６日の本会議開始前に、議場で披露を行いました。

topics

親しんでいただける広報誌づくり

市議会だよりを「ギカイのとびら」にリニューアルして２年が経ちました。多くの方々から「楽しく読んでいるよ」とのお声をいただいています。これからも「親しみやすくて役に立つ広報誌」となるよう工夫を重ねます。

リニューアル前

リニューアル後

意見をお寄せ下さい！

引き続き「読みやすい」「わかりやすい」「伝わりやすい」市議会だよりを目指すため、皆様の意見をお待ちしております。

お問い合わせフォームをご利用ください。市議会だよりのバックナンバーもご覧いただけます。

2022. 2. 5 No.187

印刷／株式会社柏崎インサツ

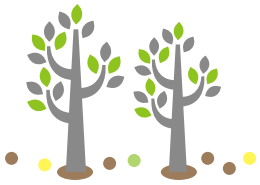
〒945-8511 新潟県柏崎市日石町2番1号
TEL：0257-21-2340 FAX：0257-22-8725
E-mail：gikai@city.kashiwazaki.lg.jp

2月 定例会議の予定

変更の場合はホームページでお知らせします。本会議は午前10時に開会します。

日	月	火	水	木	金	土
2/13	14	15	16	17 本会議 議案説明・質疑・付託	18 委員会・分科会 産業建設・文教厚生	19
20	21 委員会・分科会 総務	22 委員会 予算決算	23 （天皇誕生日）	24 本会議 委員長報告・採決 施政方針、議案説明	25	26
27	28	3/1	2 本会議 代表質問、質疑・付託	3 委員会・分科会 産業建設・文教厚生・総務 （議案補足説明）	4 委員協議会・作業部会 産業建設・文教厚生・総務 （論点整理）	5
6	7 委員会 予算決算	8 本会議 一般質問	9 本会議 一般質問	10 本会議 （一般質問・予備日）	11 委員会・分科会 産業建設	12
13	14 委員会・分科会 文教厚生	15 委員会・分科会 総務	16 委員会・分科会 産業建設	17 委員会・分科会 文教厚生	18 委員会・分科会 総務	19
20	21 （春分の日）	22 （委員会・予備日）	23 委員会 予算決算	24	25 本会議 委員長報告・採決	26

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本会議・委員会の傍聴をご遠慮いただく場合があります。
本会議・委員会は、インターネット中継でご覧いただけます。録画映像と会議録も公開しています。



議会日程

会議録・中継・傍聴

編集後記

議会広報広聴常任委員 白川 正志

「好きこそコトの上手なれ」子どもたちへ一貫して伝えるメッセージの一つ。主体的に自分で考え、行動する習慣化に欠かせない心構えと信じる。「好きをみつける・つくる・きわめる」のベースは、「自分が好き」にあると捉える。家庭、学校や職場、地域で関わり合う仲間たちで「他者の多様なこだわりの好き」を共有する事があるだろうか。「異分野の好き」を組み合せてイノベーションにつなげる「挑戦し続ける柏崎」でありたい。

次回発行は5月5日
お楽しみに

柏崎市議会 検索

議会広報広聴常任委員会
委員長　三宮直人
副委員長　星野幸彦
委員
布施　学　重野正毅　田邉優香
白川正志　樋口良子　佐藤正典
相澤宗一　若井恵子　阿部　基